

# たんぽぽだより



2020年 3月号

今年度もあと残りわずかとなりました。保護者の皆様のご協力により1年間無事に過ごせたことに感謝します。

しかし、コロナウイルスの流行により、せっかく計画していた生活発表会も中止になってしまいましたが、子ども達は関係なく病気の子もほとんどなく元気に過ごせている事は、素晴らしいことだと思います。

さて今年度1年間を振り返ってみます。

つぼみ組さんですが、“赤ちゃん“だった顔つきもしっかりしてきて、言葉も少しずつ獲得し始めコミュニケーションが取れるようになりましたね。友達も増えました。

つぼみの時代は真っ白なゼロからの出発 様々な経験を通して成長していく一番初めの大事な根っこ・基礎のまた基礎の時代です。そう考えると気が引き締まります。

人の一生の中で最もたくさんの事を吸収し、成長している**つぼみ世代の子ども達がどんな言葉を聞き、どんな扱いを受けてきたのかが一生を左右する**といっても過言ではないです。

さてもも組の子ども達、実はだんだんやりにくくなってきています。1年前を思い出すと、きちんと始まる前には席について話を聞いているし、片付けだって上手にできていました。

それが今ではバラバラ一人連れてくれば他の誰かがいなくなっているし、「あっちが良かった」「こうしたかった」それぞれ自己主張を始めて手に負えません(;ω;)ウッ…

でもこれってすごい事なんですよ。大人には「わがまま」だと見えるかもしれませんが。でもこの時期の「いやいや」や「自分で」は、**成長にとって必要なこと**なんです。自分が周りに「受け入れられているか」を確認している時期なのです。

この時期に、いつも理由もわからずに「ダメ!!!!」を言われていたらどうなると思いますか？想像つきますよね。自分を否定されたという思いが強くなります。それと同時にその子の基本はまず否定から始まるんだという事がだんだんと潜在意識に蓄積されていきます。

否定がその子の基本になれば、それからの子育ても、その子の人生でも扱いにくい人になるでしょうし、何か大きな問題が起きた時や、大きな決断をする時に怖くて自分で決められません。

でも、いちいち全部その子の思うとおりにし、すべて叶えてあげる必要はありません。まず、①聞いて②その内容や思いを言葉で返してあげてから、③出来る出来ないを話してあげるだけで、**受け入れられたことが伝わります**。さらに言葉の獲得も出来ます。

保育サロン  
たんぽぽ

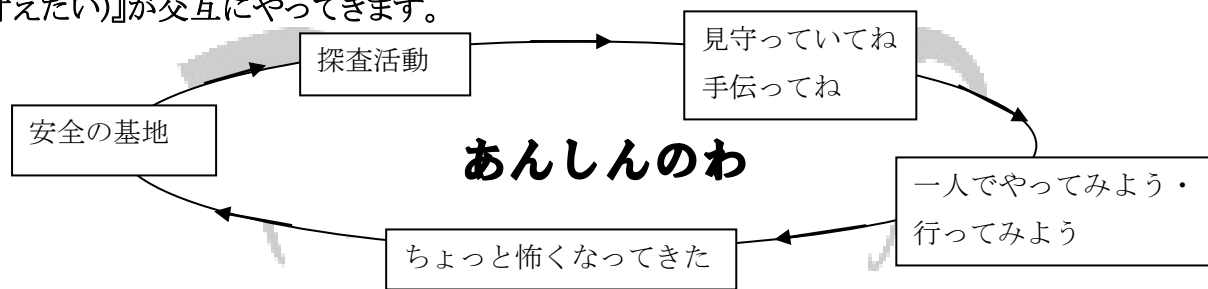
その場合、出来る出来ないの基準をはっきりと決めておくことが大事になります。毎回違っては、子どもも混乱しますから。

ゆり組ですが、運動会を過ぎた頃から友だち同士での遊びが増えてきて、お話も聞けるようになって落ち着いてきました。お当番活動も進んでしました。途中からもも組の月齢の高い子がゆり組に上がって来ました。その時は手伝ってくれたり、助けてくれたり成長していく姿がありました。

そしてゆり組に上がった子たちも、見よう見真似でがんばっていく姿が見られ、とてもよかったです。自分の思いを言葉と態度ではっきりと出せるようになりました。素晴らしい事です。

そして発表会でする予定だった、劇遊びではセリフを覚え、劇としてきちんとできていました。

0歳から2歳までの間は『安心感の輪』の中で安全の基地⇒探索活動⇒見守っていてね、手伝ってね⇒一人でやってみよう・行ってみよう⇒ちょっと離れちゃったな⇒少し怖くなってきた⇒お母さんのところに戻ろう⇒安全の基地⇒探索活動⇒……………と、この時期は安心と探索活動と自立心と恐怖心とがぐるぐる回っていく始まりの時期なのです。年齢が上がっていけば安心の輪が大きくなっていきますが、まだ3歳の時点では小さな輪ですから『自分でしたい』と『自分で出来ない(甘えたい)』が交互にやってきます。



お母さんや、保育者が子どもにとっての安全基地・避難場所として甘えてきたときには安心できるような場所・抱きしめてくれる場所になっていると、また一人で出ていく事ができるようになります。そうやって安心の輪は大きくなっていくのです。

## 保護者説明会のお知らせ

新年度の保護者説明会ですが、新型コロナウイルスの流行状態では、変更もあり得ますが、予定通りに3月28日(土)行います。ただし、なるべく短時間で終わるようにいたしますのでよろしくお願いたします。

3月28日(土) 12:45 受付  
13:00 園長からの話  
13:30 担任からの話  
内容 令和2年度の保育内容について

2月の苦情・ご提案について  
特にありませんでした

## 今月の目標： 進級することを心待ちにして楽しく過ごす。

**つぼみ組【0歳児】**：進級に向け一人ひとりの子どもの生活の場が広がる。保育者や友だちとの関りを楽しむ。

**もも組【1歳児】**：進級することを心待ちにして楽しく過ごす。感謝の心をもって春を感じる。

**ゆり組【2歳児】**：進級への期待を持ち、できることは自分でしようとする。友だちとのつながりを広げ、みんなで遊ぶことを楽しむ。

## 3月の保育内容

### 養護

**つぼみ組**：散歩に出掛け、園の周りがある春を見つけて楽しむ。這い這い、つかまり立ち、つたい歩き、歩くなど発達に応じて身体を意欲的に動かす。少しずつ自我が芽生え、「いや」と言ったり長泣きが見られるようになったので、不安や苛立ちの気持ちを受け止めてもらい見通しが持てるようになる。興味のあるものやことに関わろうとしたり、じっくり遊んだりする。

**もも組**：自己主張する姿を受け止めながら、気持ちの切り替えをしていけるよう援助する。生活や遊びを通して自分でできることや興味を持ったことに意欲的に関わろうとする。

**ゆり組**：成長を喜び、進級への期待を持って生活する。見通しを持って身の回りのことを自分でしようとする。成長を喜び、進級への期待を持って生活する。

### 教育

**つぼみ組**：手を洗い清潔になることの心地良さを感じる。午前中に身体を動かすことで保育者に声を掛けられたら自分から布団に入り眠ろうとする。自分の身体に触れながら身体の部位を知り、自分の身体に関心を持つ。ゆったりした雰囲気の中で食事を楽しむ。挨拶や「あいっぺ体操」など意欲的に取り組む。スプーンやフォークの正しい持ち方を知る。一人遊びや平行遊びを楽しみながら保育者や友だちとの関りを持つ。お友だちの名前を呼び合ったり話しかけたり頭をなでたりして仲を深め、一緒に過ごす楽しさを味わう。自分の思いを保育者に代弁してもらうことで言葉を獲得していく。二語文や三語文で相手に気持ちを伝える楽しさを味わう。興味に応じた応答性のある仕掛けを見て、いきいきと遊ぶ。保育者と一緒に様々な手遊びやふれあい遊びを楽しむ。簡単なダンスや体操の中で手や足など模倣する。お絵描きなど製作活動を楽しむ。

**もも組**：身の回りの事について出来るようになったことが増え嬉しい気持ちに共感し意欲を育ていけるようにする。仲の良い友達との主張のぶつかり合いは、自分の思いを出している姿と捉えて大切に近づくで見守ったり、双方の思いを代弁してやり取りの仕方を伝えたりする。ボールや大型積み木などの様々な道具を使って保育者や他児と楽しみながら自分でボールを投げたり、大型積み木を組み立てたりして遊ぶ。

**ゆり組**：正しい椅子の座り方を知り、きちんと座って食事をする。苦手な物も自分から食べようとする。手洗い・うがいや鼻をかむことを自ら進んで行おうとする。トイレの正しい使い方を知り、保育者に見守られながら安心して排泄をする。散歩、戸外遊び、ごっこ遊びを通して友だちとの関わりを楽しみ、一緒に遊ぶ喜びを感じる。経験したことを言葉で表す。春の自然を見たり触れたりする中で、季節の変化を感じる。保育者の手助けを受けながら、話したいことややりたいことを表現できるようになる。